

SAMPLE

特集レポート No. 108

## SaaS企業の動向

*Strictly Confidential*



2023年5月8日

## はじめに

---

- 社会環境の変化、政府政策の後押し、業務効率化ニーズの高まりなどを背景に、企業におけるSaaSの必要性は増し、SaaS市場は今後も成長が見込まれる
- そのような状況の中でSaaS企業は、人員や広告への投資に加えて、継続的な成長を実現するために、客単価の向上と客数拡大に向けた施策を講じている
- 本レポートでは、SaaSの定義や外部環境の変化による発展を確認した上で、成長のための具体的な取り組みをあげ、具体的な今後の展望を紹介する

# 本資料の流れ

---



- I. SaaS企業の台頭と発展
- II. 成長・拡大しているSaaS企業の特徴
- III. SaaS企業の今後

# SaaS (Software as a Service) とは

- SaaSとはベンダーの提供するソフトウェアを、ネットワークを通じて顧客が利用するクラウドサービスのこと
  - ベンダーが運用管理をすることから、保守点検にかかる工数、負担を抑えながら最新の機能を享受することが可能

## クラウドサービスの提供範囲

	オンプレミス	IaaS	CaaS	PaaS	SaaS
	← 大 運用負担/カスタマイズ性 小 →				
アプリケーション	✓	✓	✓	✓	✓
OS	✓	✓	✓	✓	✓
ミドルウェア*1	✓	✓	✓	✓	✓
サーバー/ ネットワーク	✓	✓	✓	✓	✓

自社で運用
  ベンダーが運用

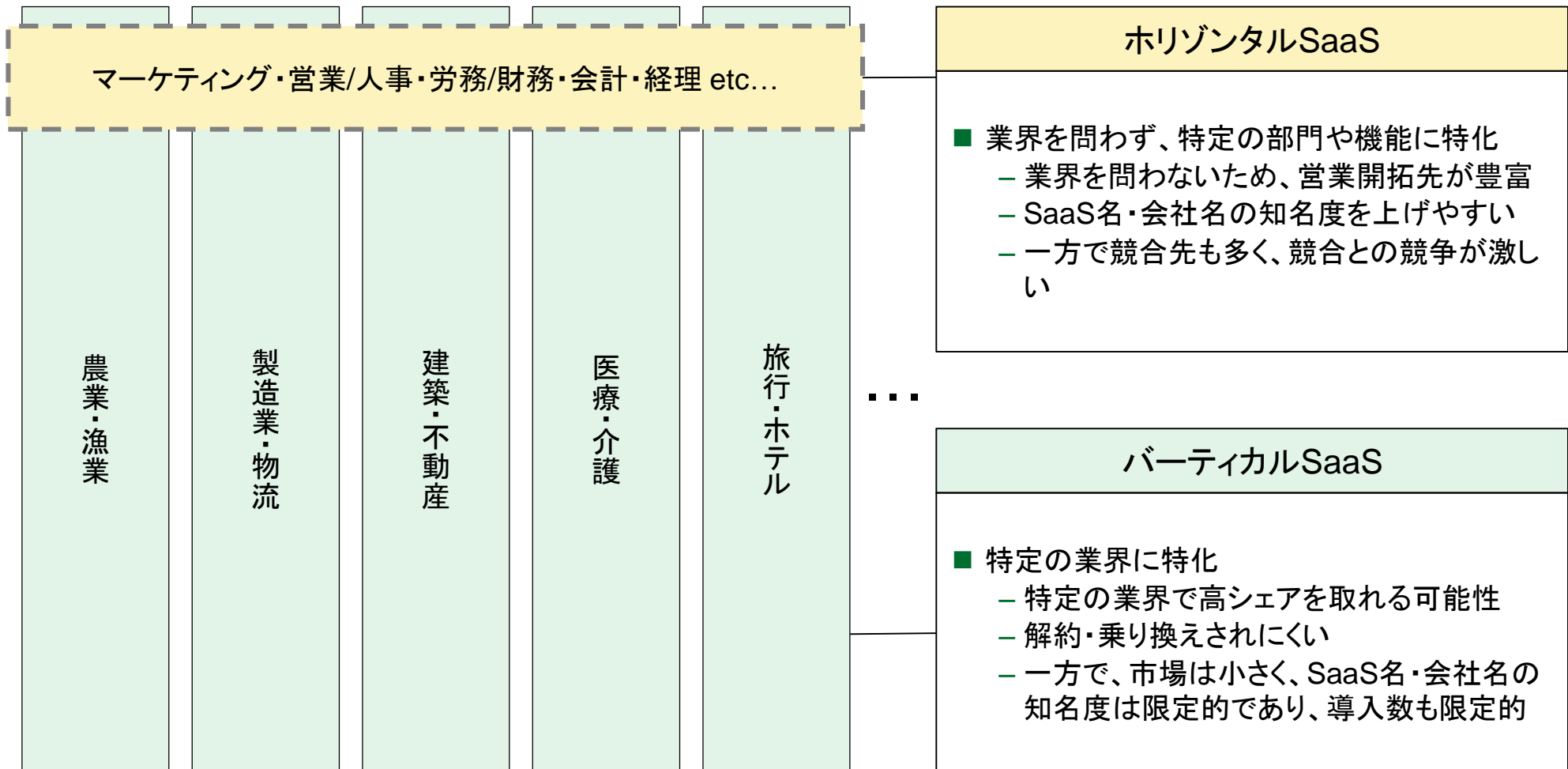
注: \*1. OSとアプリケーション間に介在しているソフトウェアのことを指し、両者間の要求を補助する役割を担う

## SaaSの特徴

- ベンダーが運用管理を行うことから、工数、負担を抑えながら最新の機能を享受することが可能
  - コスト
    - 初期設定・構築に際して導入時に料金を支払うこともあるが、基本的には月額定額料金制
  - 保守・管理
    - 基本的にはベンダーが最新状態にアップデートしているため、自社にて保守・管理を行うことはない
  - カスタマイズ性
    - 基本的にはパッケージの商品であるため、カスタマイズ性には乏しい

# SaaSプロダクトの分類

- SaaSは汎用的な課題解決に対応した「水平SaaS」と、特定の業界に特化した「垂直SaaS」に大分される

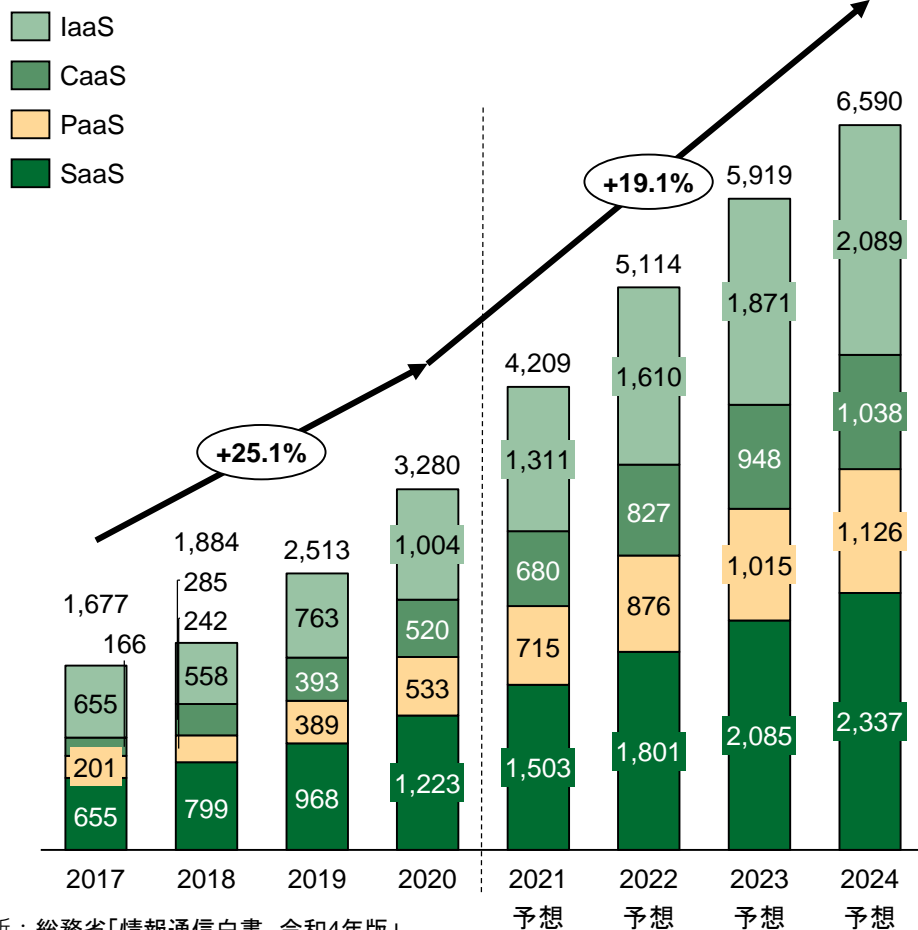


# SaaSに関連する市場規模の推移

■ SaaS市場は年々伸び続けており、今後のシェア率、利用状況も順調に伸びていく予想

## 世界のクラウドサービス市場規模の推移及び予測

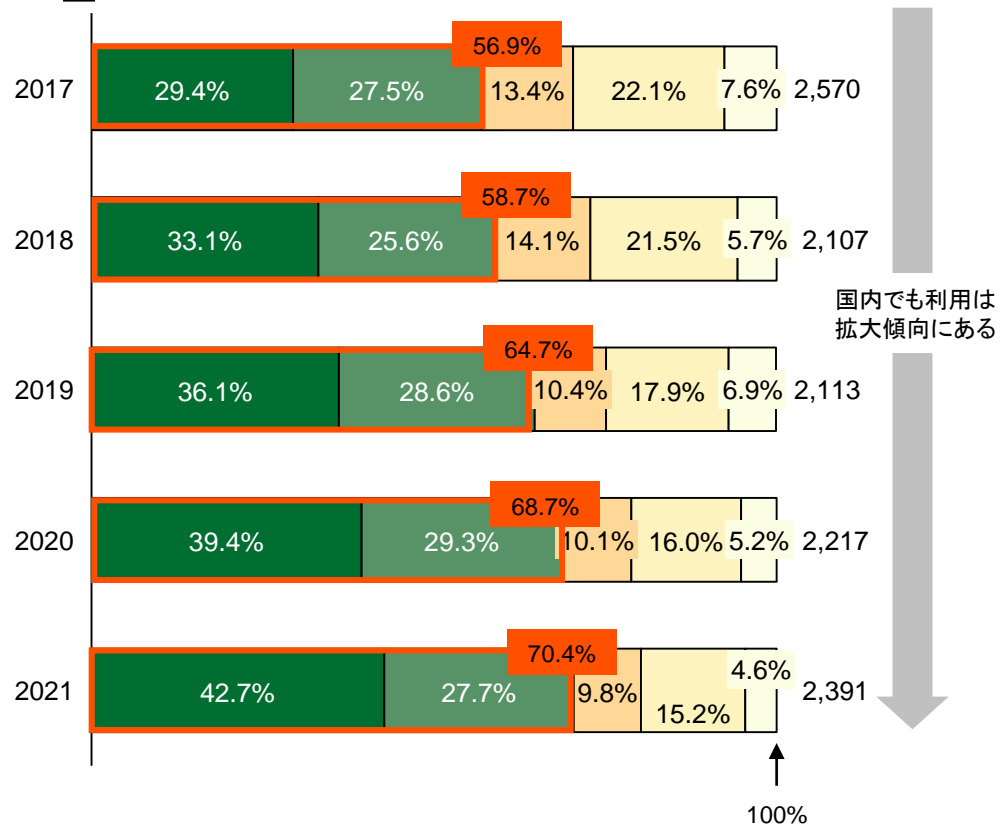
(単位: 億ドル)



## 日本のパブリッククラウドサービス市場の利用状況

(単位: %)

- 全社的に利用している
- 一部の事業部または部門で利用している
- 利用していないが、今後利用する予定がある
- 利用していないし、今後も利用する予定もない
- クラウドサービスについてよくわからない



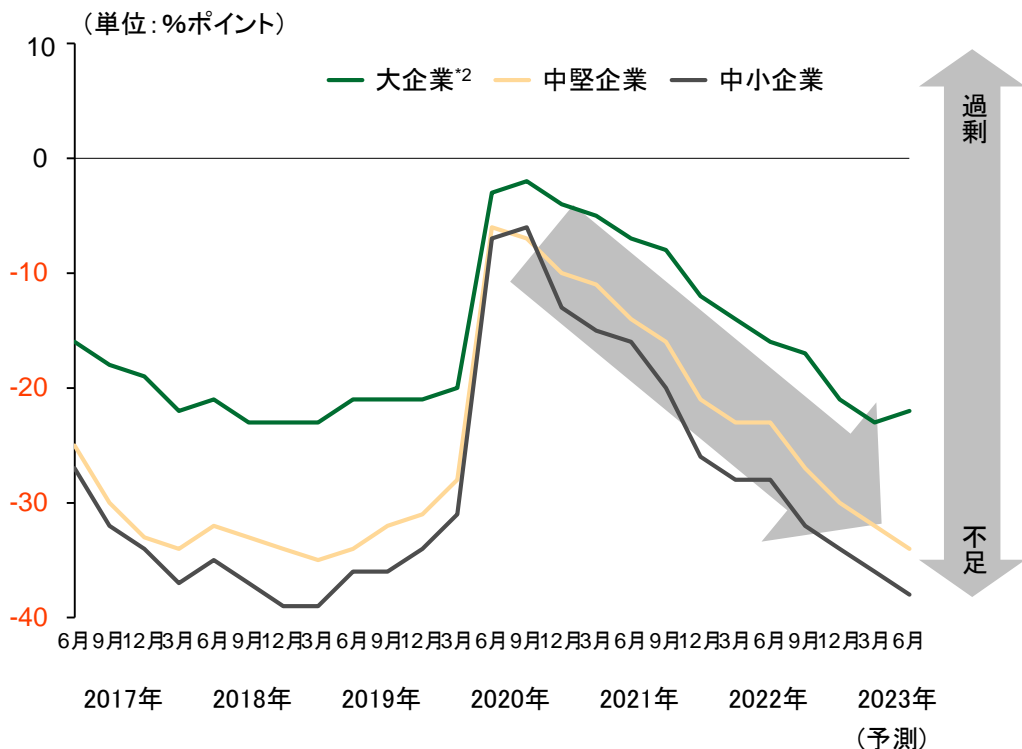
国内でも利用は拡大傾向にある

出所: 総務省「情報通信白書 令和4年版」

# SaaS企業発展の背景

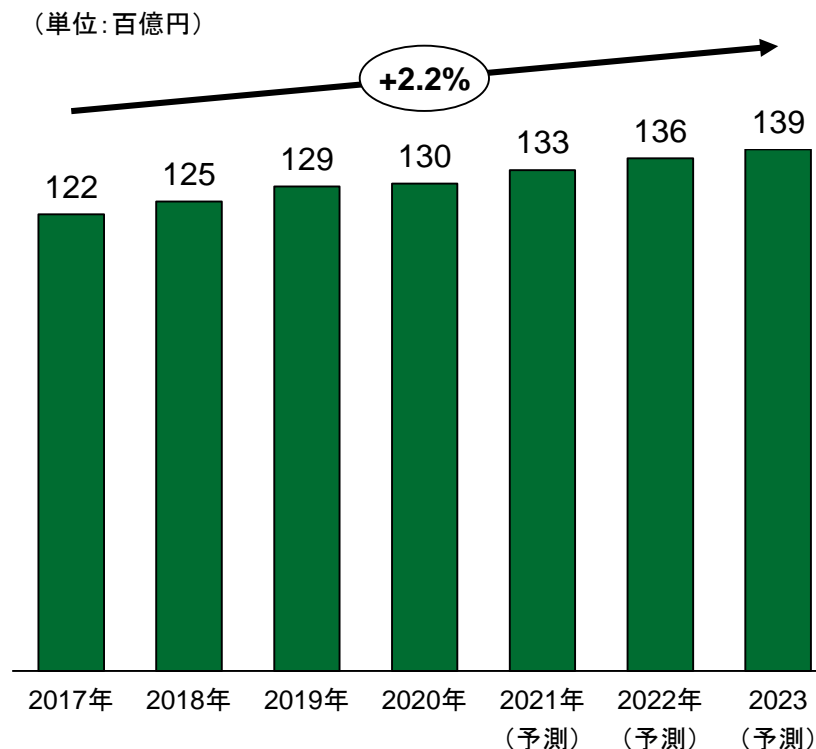
- 人手不足による業務効率化ニーズの高まり、IT予算の増加進行からSaaS市場は今後も成長が見込まれる

## 雇用人員判断D.I.\*1



人手不足の背景から潜在ニーズは上昇

## 日本の民間ICT投資額の推移及び予測



ICT投資額は増加傾向にある

注: \*1. 雇用人員判断D.I.は、「過剰」(回答社数構成比)−「不足」(回答社数構成比)

\*2. 大企業は資本金10億円以上、中堅企業は1億円以上10億円未満、中小企業は2千万円以上1億円未満の企業

出所: 総務省「情報通信白書 令和4年版」 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「雇用人員判断D.I.(2023年4月12日更新)」

# SaaS企業の事業環境

- 政府政策の後押し、設備拡充、インフレ圧力、社会環境の変化等の要因から、SaaS業界は企業に導入不可欠な存在へ

## SaaS企業を取り巻く事業環境

### Politics（政治的要因）

- 政府政策による後押しは進行
  - 生産性向上特別措置法（中小企業IoT補助金）
  - インボイス制度
  - 働き方改革
  - 「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度」(ISMAP)
  - デジタル庁発足（IT予算の増加）
  - 電子帳簿保存法（原則電子保存が義務化）

### Technology（技術的要因）

- クラウド化へのインフラ設備の拡充
  - クラウドサービスの普及
  - 5Gインフラ設備の拡充（クラウド化による増加データ量への対応）
- AI技術の進化
  - 機械学習機能の発展（チャットボット等へ活用）
  - 自動化に伴う工数削減（MA等へ活用）

### Economy（経済的要因）

- インフレによる人件費などのコスト削減の動き
  - インフレ圧力
  - リスク、コスト管理（設備投資の抑制）
  - 米国IT企業の大幅人員削減

### Society（社会的要因）

- 人口減少や社会的な労働環境の変化
  - 生産年齢人口減少
  - 働く選択の幅（テレワークの浸透など）
  - 個人情報漏洩リスクに関する意識の高まり



## SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。  
その成功の鍵や今後に関及し、「打ち手」を導出します。

